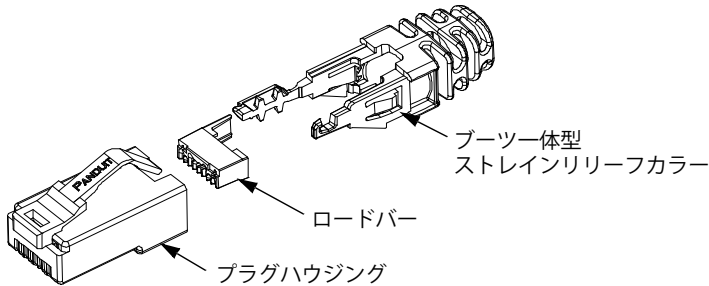


T568B 成端手順



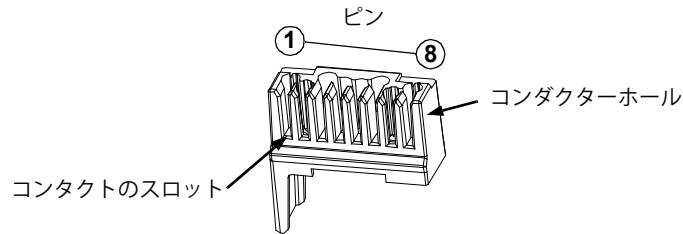
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568B	茶	茶/白	緑	青/白	青	緑/白	橙	橙/白

仕様

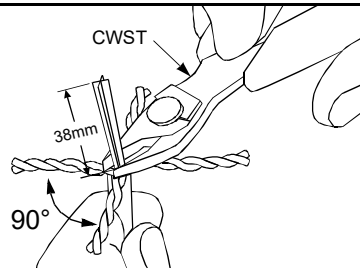
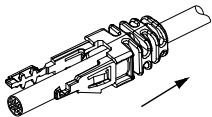
- ケーブル外被覆直径 5.72 ~ 6.35 mm (0.225 ~ 0.250 インチ)
- 23-24 AWG 撚り線または単線、最大導体絶縁直径 0.91 ~ 1.07 mm (0.036 ~ 0.042 インチ)
- ケーブルが茶色ペアと橙色ペアで構成された T568B 結線方式をお勧めします。

ロードバー

挿入時の向きに注意してください



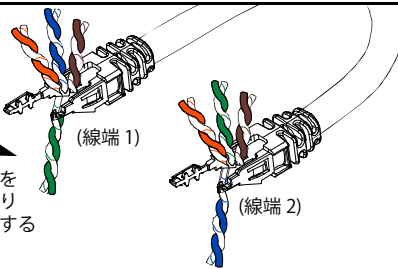
1 最初にブーツ型カラーを挿入します (終端 1 & 2)



- ブーツ型カラーをケーブルに挿入します。
- ワイヤーストリッパー (CJAST) を使ってケーブルの端から 38mm ほど外被覆を剥きます。
- 中央に介在物 (十字介在) がある場合は、ニッパー (CWST) を使って導線を曲げた根元から 4mm ほどの所でカットします。

2

ディバイダーを矢印方向に折り曲げてラッチする

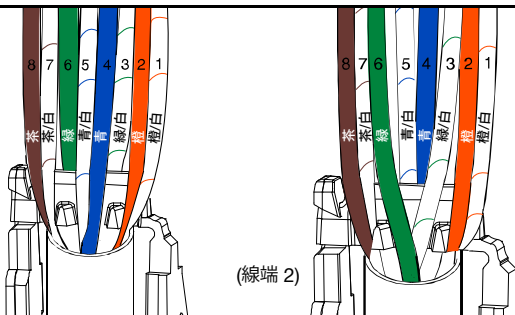


◆ケーブルの両端で構造が異なります。

- ケーブル両端の橙色ペアと茶色ペアの左右の位置を合わせると、青色ペアと緑色ペアの位置が上下逆になります。
- 他 3 つのペアに対して緑色ペアもしくは青色ペアを下方向に分けて、その間にディバイダーを矢印方向に折り曲げてラッチします。

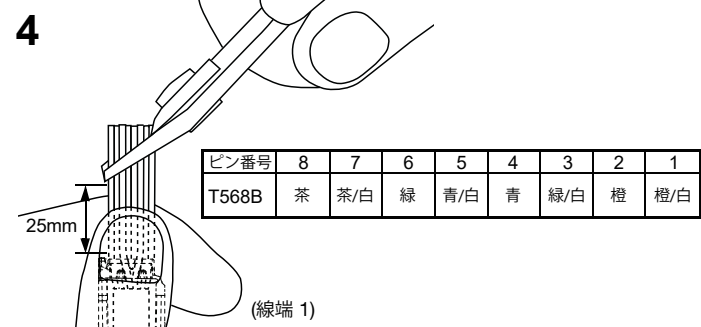
3

(線端 1)



- ディバイダーが、各ペア線のできる限り根本付近にあることを確認し、ディバイダーの所まで、各ペアの撚りを戻します。
- 図のように T568B 結線配列になるようにペアを並べてください。

4

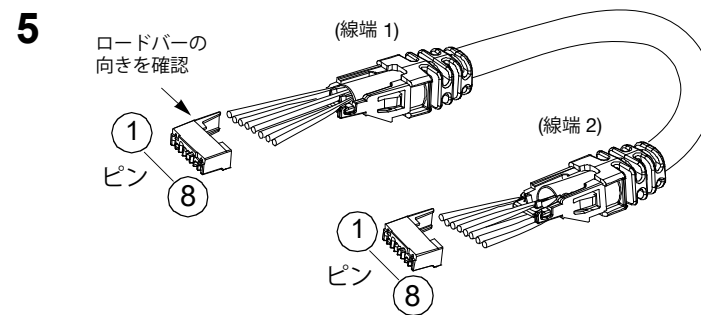


ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568B	茶	茶/白	緑	青/白	青	緑/白	橙	橙/白

(線端 1)

- 1番から8番ピンまで一列にして、ディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)

5



ロードバーの向きを確認

(線端 1)

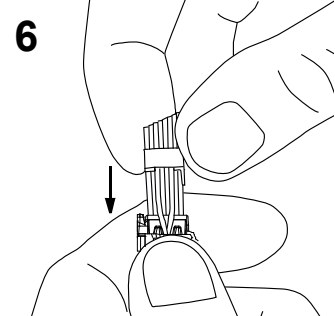
(線端 2)

①ピン ⑧

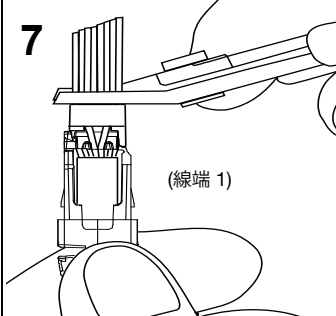
①ピン ⑧

- 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。

6



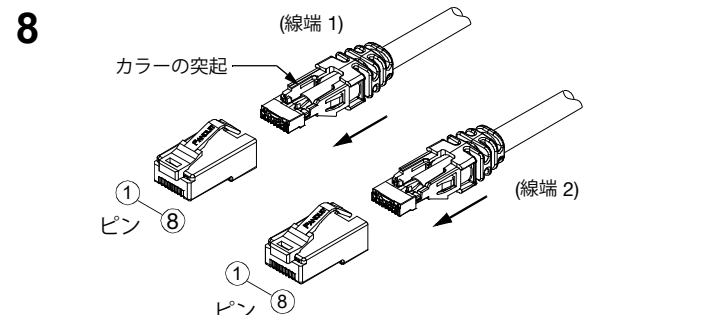
7



(線端 1)

- ディバイダーとの隙間ができる限りできないようにロードバーをしっかりと挿入します。
- ロードバーの先端で余分な導線をカットします。

8



(線端 1)

カラーの突起

(線端 2)

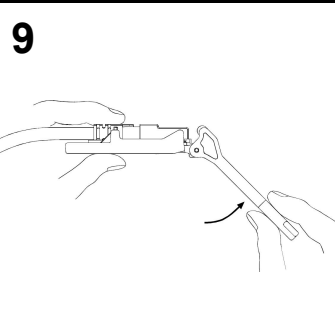
①ピン ⑧

①ピン ⑧

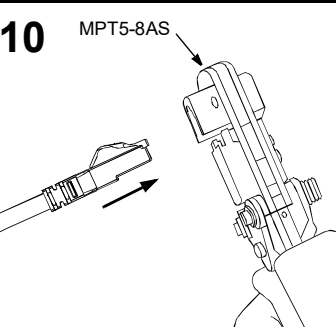
- 図のようにカラーの向きを確認して、可能なところまでハウジングに挿入します。

【注意】
一度挿入した後にケーブルを抜くと、ハウジングにロードバーが残ってしまい、その後成端ができなくなります。

9



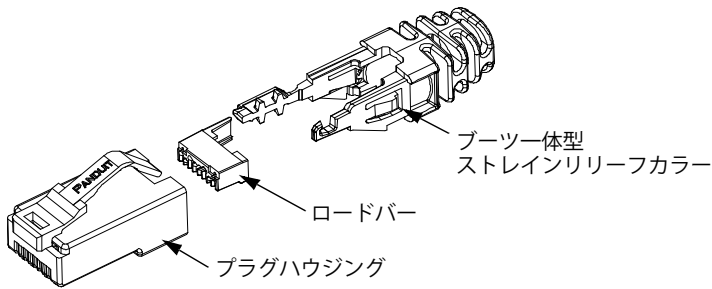
10



MPT5-8AS

- 補助工具CSPTを使用して、ラッチするまでブーツごとストリッパカラーを挿入します。
- 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。

T568A 成端手順



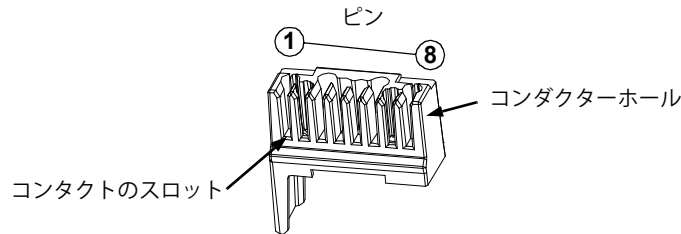
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶/白	橙	青/白	青	橙/白	緑	緑/白

仕様

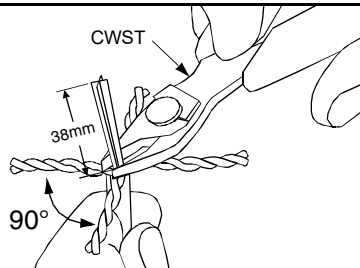
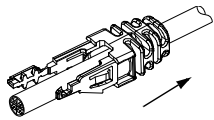
- ケーブル外被覆直径 5.72 ~ 6.35 mm (0.225 ~ 0.250 インチ)
- 23-24 AWG 撚り線または単線、最大導体絶縁直径 0.91 ~ 1.07 mm (0.036 ~ 0.042 インチ)
- ケーブルが茶色ペアと緑色ペアで構成された T568A 結線方式をお勧めします。

ロードバー

挿入時の向きに注意してください

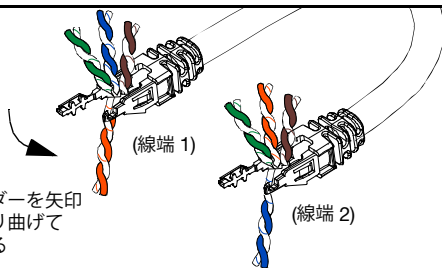


1 最初にブーツ型カラーを挿入します (終端 1 & 2)



- ブーツ型カラーをケーブルに挿入します。
- ワイヤーストリッパー (CJAST) を使ってケーブルの端から 38mm ほど外被覆を剥きます。
- 各対を十字方向に開きます。(放射状)茶のペアが橙のペアの反対側に来るようにしてください。
- 中央に介在物 (十字介在) がある場合は、ニッパー (CWST) を使って導線を曲げた根元から 4mm ほどの所でカットします。

2

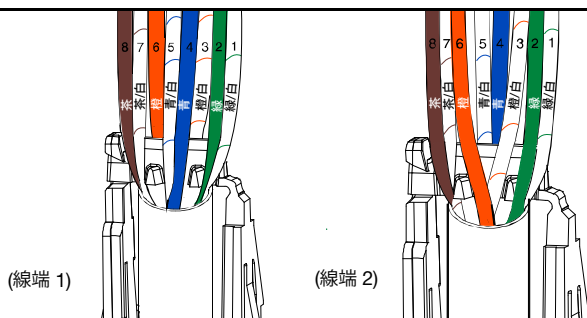


ディバイダーを矢印方向に折り曲げてラッチする

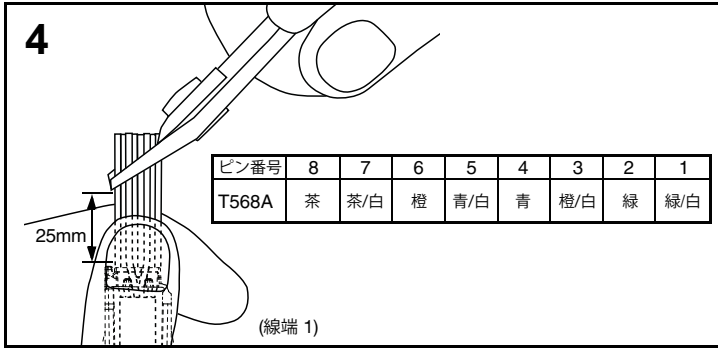
◆ケーブルの両端で構造が異なります。

- ケーブル両端の緑色ペアと茶色ペアの左右の位置を合わせると、青色ペアと橙色ペアの位置が上下逆になります。
- 他3つのペアに対して**橙色ペアもしくは青色ペアを下方向に分けて、その間にディバイダーを矢印方向に折り曲げてラッチ**します。

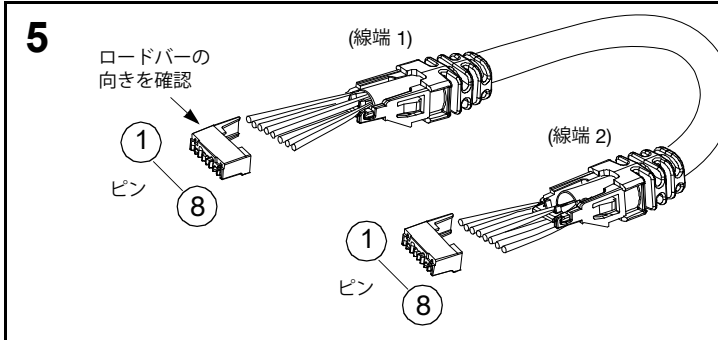
3



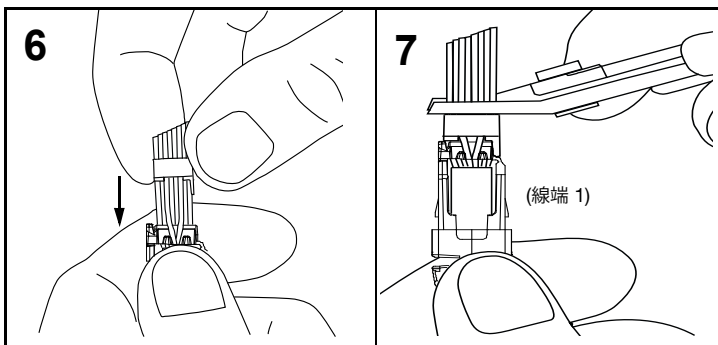
- ディバイダーが、各ペア線のできる限り根本付近にあることを確認し、ディバイダーの所まで、各ペアの撚りを戻します。
- 図のように T568A 結線配列になるようにペアを並べてください。



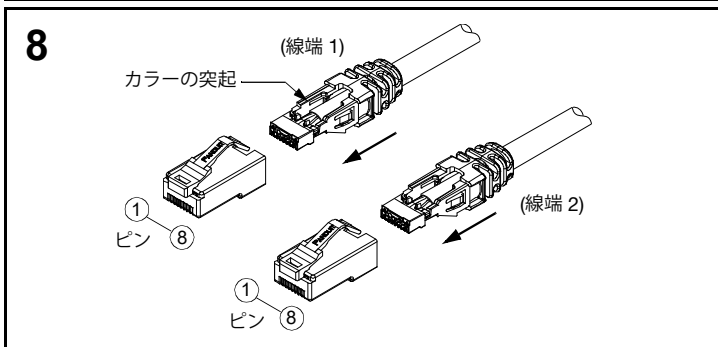
- 1番から8番ピンまで一列にして、ディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)



- ロードバーのコンタクトスロットを下に向けます。



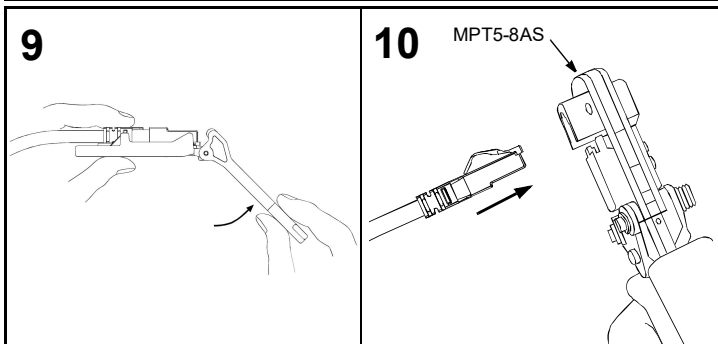
- ディバイダーとの隙間ができる限りできないようにロードバーをしっかりと挿入します。
- ロードバーの先端で余分な導線をカットします。



- 図のようにカラーの向きを確認して、可能なところまでハウジングを挿入します。

【注意】

一度挿入した後にケーブルを抜くと、ハウジングにロードバーが残ってしまい、その後成端ができなくなります。



- 補助工具CSPTを使用して、ラッチするまでブーツごとストレリリーフカラーを挿入します。
- 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。